年頭の挨拶

奥出雲町長　岩田 一郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えになりましたこと、先ずもってお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、本町では三十八年豪雪以来の大雪や「平成十八年七月豪雨」など大きな災害に見舞われた多難な一年でありました。被災された皆様方に改めて、心からお見舞いを申し上げます。

国と県の厳しい財政から地方交付税や公共事業費は削減され厳しい予算となっておりますが、本町の平成十八年度一般会計予算は十二月補正で災害復旧費を追加し百八十五億円と県内町村ではトップの規模となるなど多くの建設事業を実施して越年することができました。

特に新町建設計画の中で最優先の課題である横田地域のケーブルテレビ、超高速インターネット網の整備につきましては、全国の市町村の多くが補助金の採択が受けられず、起債のみで事業を実施している中で国・県に強力な要望活動を行った結果、国の三分の一の補助採択と残額の七割を国が負担する極めて有利な過疎債の許可も受け、昨年末に横田地域の放送を開始することができました。

今年も健全な財政運営に配慮しつつ、引き続き補助金、有利な起債等を積極的に導入し、新町の一体感の醸成のための環境整備を図っていく考えであります。

特に国営開発農地につきましては、企業参入や農業生産法人によるフルーツトマト、大規模作目の導入により今まで利用されていない国営開発農地の活用を積極的に進めて参ります。

さて昨年の稲作の作況指数は、県・出雲部とも九十六（パーセント）でありましたが、七年前、町でカントリーエレベーターを建設し、島根米から差別化を図ってからは、仁多米がブランド米となり米価も引き上げられ「全国　米・食味分析鑑定コンクール」において仁多米は金賞を受賞するなど町が行った施策は適切であったと喜んでおります。なお、この全国コンクールは今年十一月、奥出雲町で開催される予定であります。

畜産につきましては、今年十月「第九回全国和牛能力共進会」が米子市で開催され、既に第五区「繁殖雌牛群区」は県代表に決定し、また、昨年県共進会でグランドチャンピオンを獲得した名牛もおり、これから決定されます各出品区で県代表を目指し、万全の体制を整えて取り組んで参る考えであります。

そのほか昨年は、奥出雲町の「町章」が決まり、町の花は「しゃくなげ」、町の木も「もみじ」に決定し、また町歌につきましても、三月お披露目する予定であります。

合併を記念し町内の観光地や道路、木次線沿線にもみじを植栽し、将来、春は若葉、秋は京もみじの紅葉を楽しむ多くの観光客が訪れる「もみじの里奥出雲町」となるよう景観づくりを進めて参ります。

また、昨年は三成公園陸上競技場・ホッケー場、横田公園テニスコートなどスポーツ施設の整備を集中的に行いましたし、稲原地区県営ほ場整備事業、横田西地区ふるさと農道、大谷農道や八川・馬木・鳥上地区のコミュニティセンター、診療所の竣工、十四自治会の集会所建設事業など整備を終えたところであります。

一方、スポーツでも大活躍した一年でありました。

中学校では、各運動部、ブラスバンド部、園芸部などが県・全国大会で活躍し、全国高校総体においては横田高校男子ホッケー部が、国体では横田高校女子ホッケー部が見事全国制覇をそれぞれ成し遂げました。

消防団も布勢分団が島根県消防操法大会において、優勝した雲南市と僅かに一点差で第三位に入賞し、奥出雲町として二年連続で表彰纏の栄に輝いたところであります。

そのほか、十一月には、亀嵩温泉「玉峰山荘」の入館者が目標より二年以上早く百万人を達成し、ＮＨＫの人気番組「ふるさと自慢うた自慢」、「今日の料理ワークショップ」、「ぐ~チョコランタン劇場」の地元開催や「仁多乃炎太鼓」をはじめ全国から十五団体が出演し、三千人の観客を魅了した「太鼓まつり」など大きな行事も多くありました。

また、広報や自治会長会などで説明をいたしておりますが、市町村の財政の健全度を示します経常収支比率は二十一市町村中、良い方から二番目の指数ではありますが、合併後の町の財政を精査いたしますと、新たに発生した借入金の返済などもあり、今後更に財政のローリング・見直しを行い、起債の繰り上げ償還などによる健全財政に努めるとともに、要望の多い道路の改良舗装、横田地域の上下水道整備、横田中学校の大規模改造、仁多地域で超高速インターネット網の更新、町営住宅の建設など生活基盤整備を進めて参りたいと考えております。

本年が奥出雲町にとりまして、また皆様にとりまして、明るく希望に満ちた幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げ、年頭にあたり新年のご挨拶といたします。

なお、私事でございますが、公職選挙法の規定により町内の皆様への年賀状を失礼させていただきましたのでご寛容下さいませ。

米寿　おめでとうございます

今年めでたく百六十六名の方が米寿をお迎えになりました。町では、自治会長さんを通じて祝詞と祝品をお贈りいたし、長寿をお祝い申し上げました。

米寿をお迎えになりましたのは、次の皆様です。

布勢	梅木雪さん
〃	松田廣さん
〃	内田房市さん
〃	陶山ヨネコさん
〃	陶山末敏さん
〃	石原イキヨさん
〃	陶山君子さん
〃	安部守得さん
〃	加藤美江子さん
〃	吉川ハツヱさん
〃	安部敏雄さん
〃	吉川頼子さん
〃	飛田ハルエさん
〃	石原豊野さん
〃	加納タルノさん
〃	内田三善さん
〃	岩田勝榮さん
三成	渡部初江さん
〃	岩本君子さん
〃	景山嘉義さん
〃	川西重子さん
〃	木下光義さん
〃	駒原武夫さん
〃	立石ヨシヱさん
〃	内田那美子さん
〃	恩田麻市さん
〃	長尾ハナ子さん
〃	藤原シゲコさん
〃	和久利富吉さん
〃	磯田春枝さん
〃	藤原貞夫さん
〃	平田政子さん
〃	安部武太郎さん
〃	和久利徳壽さん
亀嵩	高橋ヨリ子さん
〃	橋　シゲ子さん
〃	横路チヨノさん
〃	藤原敏治さん
〃	高橋勝一さん
〃	糸原イソノさん
〃	藤原孝子さん
〃	藤原光子さん
〃	比和野文枝さん
〃	若槻武義さん
〃	若槻久枝さん
〃	小池さだ子さん
〃	石原アサ子さん
〃	若槻トミ子さん
〃	杠　寛造さん
〃	神張ヨシコさん
〃	石原カヅエさん
〃	杠　フミヱさん
〃	表　タカさん
〃	田部義富さん
〃	三澤八重子さん
〃	林　フサヨさん
〃	廣野義代さん
阿井	藤原ヤス子さん
〃	酒井芳子さん
〃	深田武吉さん
〃	酒井久子さん
〃	高橋ハルエさん
〃	田部廣實さん
〃	難波ミツコさん
〃	小池清一さん
〃	藤原芳夫さん
〃	石原アサコさん
〃	松崎浪惠さん
〃	内田嘉次さん
〃	森長豊子さん
〃	谷尻峯助さん
〃	古川シゲ子さん
〃	内田シヅエさん
〃	和久利清子さん
〃	梅澤房子さん
〃	金倉貴美子さん
〃	松原茂雄さん
〃	石原ミツ子さん
〃	高木富美枝さん
〃	矢矧サヨさん
三沢	安部光代さん
〃	高橋茂子さん
〃	高橋千代子さん
〃	飛田茂福さん
〃	白名　武さん
〃	渡部ツミ子さん
鳥上	渡部芳江さん
〃	堀江嘉吉さん
〃	部田芳野さん
〃	堀江のりよさん
〃	村尾アサヨさん
〃	永井トシエさん
〃	高尾フサコさん
〃	松崎ヨシコさん
〃	ト藏都美子さん
〃	須山榮次郎さん
〃	安部美幸さん
〃	廻田健一さん
〃	田邊ユキヱさん
横田	藤岡末代さん
〃	渡部ミツコさん
〃	木原サダコさん
〃	諏訪三千江さん
〃	三澤法子さん
〃	飯田要吉さん
〃	内田國野さん
〃	宇都宮松子さん
〃	渡邊秋江さん
〃	田浪マサ子さん
〃	恩田貞子さん
〃	小田原初代さん
〃	高橋君代さん
〃	矢壁　蘭さん
〃	長澤千代子さん
〃	水岩田ユキエさん
〃	須山キワノさん
〃	和久利治雄さん
〃	足立タマヨさん
〃	藤原幸枝さん
〃	長谷川ひさえさん
〃	三澤明江さん
〃	立花貞野さん
〃	山田　操さん
〃	畑山勝枝さん
〃	岩田一夫さん
〃	中村明見さん
〃	堀江珪一さん
〃	市田敏夫さん
〃	安部清子さん
〃	森山絹子さん
〃	杠　末子さん
〃	部原利夫さん
八川	藤田スガノさん
〃	佐伯福義さん
〃	高橋シゲノさん
〃	堀尾アキエさん
〃	松崎房江さん
〃	佐々木豊雄さん
〃	新田正江さん
〃	佐藤サダ子さん
〃	竹山タマヨさん
〃	三成京子さん
〃	石原明光さん
〃	田邊タマノさん
〃	桑原ヨシエさん
〃	桑原武雄さん
〃	松浦邦治さん
〃	渡部末子さん
〃	松原芳江さん
〃	森原勝信さん
馬木	梅木岩子さん
〃	吉川松代さん
〃	山崎俊子さん
〃	山崎雅雄さん
〃	新田茂子さん
〃	戸屋トシコさん
〃	大本タマヨさん
〃	大元クニヨさん
〃	糸原仁一さん
〃	小早川ヒデヨさん
〃	加村好春さん
〃	糸原稲美さん
〃	杉元トミエさん
〃	永沼キミエさん
〃	内田義雄さん